

# 京都大学新聞

発行所 京都大学新聞社  
〒606 京都府京都市左京区田原  
京都大学構内  
電話(075)824140  
編集・発行部  
〒606 京都府京都市左京区田原  
電話(075)824140

### 日本赤十字会 献金

日本赤十字会が、京都府赤十字会を通じて、京都府立第一高等学校に、計五万七千七百五十円を寄附した。これは、同校の校舎改築費の一部としてのものである。同校は、この寄附を歓迎し、感謝状を提出した。

### 本校教職員組合の活動

本校教職員組合は、この間、教職員生活の改善と、学生生活の向上に努めた。組合員は、教職員生活の改善に努め、学生生活の向上に努めた。組合員は、教職員生活の改善に努め、学生生活の向上に努めた。

### 京大入事

京都大学に入事した職員は、以下の通りである。入事した職員は、以下の通りである。入事した職員は、以下の通りである。

### 海外出張

京都大学からは、海外に出張した職員が、以下の通りである。出張した職員は、以下の通りである。出張した職員は、以下の通りである。

## 学内問題動き出す 協議会設置が焦点

学内問題が動き出す。協議会の設置が焦点となっている。協議会の設置が焦点となっている。協議会の設置が焦点となっている。

## 再建準備会結成へ 二十日から東京で全自民

再建準備会の結成に向けて、二十日から東京で全自民の会議が開かれる。再建準備会の結成に向けて、二十日から東京で全自民の会議が開かれる。

## 出資金増額も検討 生協総代会開かれる

出資金増額も検討される。生協総代会が開かれる。出資金増額も検討される。生協総代会が開かれる。

### 一週一問一答

読者の質問に答える。読者の質問に答える。読者の質問に答える。

### 来年早々発足か 学内諸機関の代表集め

来年早々発足か。学内諸機関の代表を集める。来年早々発足か。学内諸機関の代表を集める。

## 新徳館跡に決る 教養学館 三日教養部長と団交

新徳館跡に決る。教養学館の三日教養部長と団交。新徳館跡に決る。教養学館の三日教養部長と団交。

## 誠意ある回答を 日大事件で教官が声明書

誠意ある回答を。日大事件で教官が声明書。誠意ある回答を。日大事件で教官が声明書。

## 教官選考に疑点 TCM氏留任運動で露呈

教官選考に疑点。TCM氏留任運動で露呈。教官選考に疑点。TCM氏留任運動で露呈。

### 理想

キリスト教現代社会  
現代の世界的状況  
理想社

### 裸の社会

裸の社会  
ダイヤモンド社

### 経済成長の理論

経済成長の理論  
ダイヤモンド社

### 世界の大思想

世界の大思想  
河出書房

### 資本論2

資本論2  
河出書房

### 自由

自由  
自由社

### 自然

自然  
自由社

### 現代の技術

現代の技術  
自由社

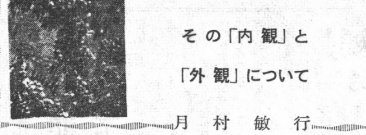
### 自由

自由  
自由社

### 「大衆」を思想として扱え

「大衆」を思想として扱え。これは、戦後日本の思想界に於ける重要な課題である。戦前、大衆は単なる政治的対象として扱われてきた。戦後、大衆は思想の主体として扱われるべきである。この本は、大衆の思想をどのように捉えるべきか、その内観と外観について、月村敏行氏が鋭く論じている。大衆の思想は、単なる感情の発露ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、大衆の思想を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

## 「大衆」の思想



その「内観」と「外観」について  
月村敏行

「大衆」の思想は、戦後日本の思想界に於ける重要な課題である。戦前、大衆は単なる政治的対象として扱われてきた。戦後、大衆は思想の主体として扱われるべきである。この本は、大衆の思想をどのように捉えるべきか、その内観と外観について、月村敏行氏が鋭く論じている。大衆の思想は、単なる感情の発露ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、大衆の思想を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

「大衆」の思想は、戦後日本の思想界に於ける重要な課題である。戦前、大衆は単なる政治的対象として扱われてきた。戦後、大衆は思想の主体として扱われるべきである。この本は、大衆の思想をどのように捉えるべきか、その内観と外観について、月村敏行氏が鋭く論じている。大衆の思想は、単なる感情の発露ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、大衆の思想を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

### 論壇

## 厚生施設の拡充と中教審—教育全面反動に対決する闘いを

小俣昌道

教育の全面反動に対決する闘いを。これは、戦後日本の教育界に於ける重要な課題である。戦後、教育は単なる知識の伝達から、社会の改革と深く結びついている。この本は、教育の全面反動に対決する闘いを、どのように捉えるべきか、その内観と外観について、小俣昌道氏が鋭く論じている。教育の全面反動は、単なる知識の伝達ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、教育の全面反動を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

## 思想としての「搾取」

実在としてのプロレタリアートの階級

六戸の責任と求むる其の

思想としての「搾取」。これは、戦後日本の思想界に於ける重要な課題である。戦前、搾取は単なる経済的現象として扱われてきた。戦後、搾取は思想の主体として扱われるべきである。この本は、搾取をどのように捉えるべきか、その内観と外観について、月村敏行氏が鋭く論じている。搾取は、単なる経済的現象ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、搾取を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

「大衆」の思想は、戦後日本の思想界に於ける重要な課題である。戦前、大衆は単なる政治的対象として扱われてきた。戦後、大衆は思想の主体として扱われるべきである。この本は、大衆の思想をどのように捉えるべきか、その内観と外観について、月村敏行氏が鋭く論じている。大衆の思想は、単なる感情の発露ではなく、社会構造と深く結びついている。この本は、大衆の思想を深く理解するための重要な手がかりを提供している。

さら食堂

この味、この評判も……

さら食堂

この味、この評判も……

## 特集＊転機に立つ日本の選択

「転機に立つて福田欽一」

小さな世界大急世界甲寅次郎

国連軍構想を検討する石本泰雄

周作人から核実験まで竹内好

岐路に立つアメリカの軍事産業川田侃

豊富ななかの希望と不安 藤野野矢 綿貫謙治

くまひく中心関係—A ロス

世界の潮

特集—一九六五年—世界の焦点

日本の潮

特集—佐藤政権をとりまく緊張

「自主性」の陥穽 藤野野矢 八代健朗

経済ナシヨナリズム論 野口雄一郎

久野収

宮本顕治

成田知巳

革新政党の

ヴィジョンと課題

久野収

宮本顕治

成田知巳

社会主義は何であるか 坂本逸郎

秋を送り冬を迎える……末川博

現代と義太夫の世界

豊村山城少塚 竹本綱夫・武満 徹

扱い方について……中野重治

中野重治

石川淳一

藤野野矢

花多幸子

## 世界

1月特大号・190円

対談

日本の裁判制度 大内兵衛

苦い砂糖—キユーバの工掘田善衛

展伏しき人々—マリア大権野おたかを死VSポスター

我妻栄

扱い方について……中野重治

中野重治

石川淳一

藤野野矢

花多幸子